

第2回エコラーニングツアー

いのちのめぐみプロジェクト～命の尊さや生き物との共存について考えよう～

【開催日】

2025年11月8日(土)

【会場】

前坂キャンプ場(福井県大野市朝日前坂6-23)



イノシシの解体見学・体験【協力事業者:福井和泉リゾート株式会社】

獣害対策の一環として、捕獲されたイノシシの解体見学と一部体験を実施しました。参加者はナイフを使って皮をはぐ工程を体験し、野生動物がどのように処理され、食品として流通するのかを学びました。命と真摯に向き合い、人と野生動物の共存について考える、貴重な機会となりました。



食を通しての生物多様性について考えるプログラム

【協力事業者:福井和泉リゾート株式会社、奥越漁業協同組合】

大野市特産のマイタケ弁当や天然なめこ汁、イノシシ肉のベーコン、さらに外来種であるウチダザリガニを使ったパスタを昼食でいただきました。食を通して、自然の恵みを感じるとともに、外来種や害獣の活用による生態系維持の重要性について学びました。奥越漁協からは、ウチダザリガニの製品化について説明を受け、駆除や活用の難しさを知りました。食を通して、自然の恩恵や地域が抱える課題について考えました。



里山の間伐体験【協力事業者:福井和泉リゾート株式会社】

キャンプ場内で雑木の間伐体験を行いました。まず、林業従事者の減少が獣害拡大に影響していることを学んだ後、チェーンソーを使って木を伐倒し、丸太の加工を体験しました。さらに、炭窯の見学では炭づくりの工程を学び、森林資源の活用について理解を深めました。この体験を通じて、里山を守る人が減少していることが獣害拡大につながっている現状を理解するとともに、加工体験を通じて森林資源を生かすことの良さを実感する機会となりました。



【参加者の感想】

- ・イノシシの解体や間伐体験など、普段はなかなかできない体験ができて、とても楽しかったです。人が減ったことで住む場所が変わり、動物が山の下まで降りてきたことや、外来種が増えていることなど、このツアーを通じて多くのことを知ることができました。
- ・地元は自然に恵まれた地域ですが、これまでその魅力を肌で感じる機会はありませんでした。今回のツアーでは、仲間とともに自然の素晴らしさや楽しさを分かち合うことができ、本当に心に残る体験となりました。
- ・イノシシの解体やフェザースティック作りを通じて、自然の恵みの大切さを実感しました。他の参加者ともさまざまな交流ができてよかったです。今後も資源を大切に使い、環境に配慮した行動を心がけていきたいと思います。